

第4次茨城県環境基本計画

概要版



計画策定の基本的事項

計画の性格と役割

豊かな環境を保全・創造し、次の世代へ継承していくため長期的な目標、施策の大綱等を示します。

計画の期間

令和5年度(2023年度)を初年度として、今後概ね10年間とします。

各主体の役割

本計画では、県のほか、県民、NPO法人等の民間団体、事業者及び市町村も計画に関わる主体として位置づけあらゆるステークホルダーの参画を促していきます。



計画策定の基本的な考え方

国内外における経済・社会情勢の変化及び環境を取り巻く状況等を踏まえるとともに、複数の課題を統合的に解決することを目指すSDGsの考え方も活用しながら持続可能な社会を目指します。

環境を取り巻く状況等の変化

- 持続可能な開発目標(SDGs)への取組
- 地球温暖化対策
- 気候変動による影響への適応の推進
- 持続可能な地域づくり
- 循環型社会づくり
- 地域環境の保全
- 生物多様性の保全
- 多様で健全な水循環の保全と利用 など

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



出典:国際連合広報センター



環境の将来像

県民が健全で恵み豊かな環境の恵沢を享受し、安心安全で充実した暮らしを送ることができる茨城県を目指すため、環境の将来像を「豊かで魅力ある自然が守られ、持続可能で環境と調和した社会」と決めました。また、環境の将来像を受けて、5つの基本目標を設定し、その達成に向けて8つの施策の柱により施策を展開します。

将来像

豊かで魅力ある自然が守られ、持続可能で環境と調和した社会



計画の施策の柱

地球温暖化対策及び気候変動適応策の推進

地域環境保全対策の推進

湖沼環境保全対策の推進

循環型社会づくりの推進

生物多様性の保全と持続可能な利用

快適で住みよい環境の保全と創出

各主体が学び協働することによる環境保全活動の推進

環境の保全と創造のための基本的施策の推進



1 地球温暖化対策及び気候変動適応策の推進

地球温暖化対策及び気候変動適応策の推進に向けて、省エネルギー対策及び二酸化炭素吸収源対策、再生可能エネルギーの利用と導入促進、気候変動適応策の推進に関する施策を展開します。

主な施策

- 省エネルギー対策
- 二酸化炭素吸収源対策
- 再生可能エネルギーの導入促進
- 地域と共生した再生可能エネルギーの適正導入
- いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出プロジェクト
- 分野別気候変動適応策の推進

主な環境指標

温室効果ガス排出量(千t-CO ₂) (H25 → R12)	
産業部門CO ₂	30,723 → 19,048(▲38%)
業務部門CO ₂	4,893 → 2,397(▲51%)
家庭部門CO ₂	4,638 → 1,577(▲66%)
運輸部門CO ₂	6,622 → 4,304(▲35%)
エネルギー転換部門CO ₂	1,359 → 720(▲47%)
その他ガス (非エネルギー起源CO ₂ 、メタン、N ₂ O)	2,761 → 2,374(▲14%)
HFC等4ガス(フロン類)	937 → 525(▲44%)

地球温暖化対策における各主体の役割



2 地域環境保全対策の推進

地域環境保全対策の推進に向けて、大気環境及び水環境、土壌・地盤環境の保全のほか、化学物資の環境リスク対策や原子力災害からの環境再生の推進に関する施策を展開します。

主な施策

- 固定発生源、移動発生源対策
- 騒音・振動・悪臭対策
- 水質の監視観測・調査研究
- 工場・事業場等の排水対策及び生活排水対策
- 森林等による水質保全と水の有効利用
- 多様で健全な水循環の保全と利用
- 土壌汚染、地盤沈下対策
- 化学物質の総合的なリスク対策
- ダイオキシン類、有害物質、アスベスト対策
- 放射線モニタリング及び不安の解消等

主な環境指標

公共用水域の環境基準達成率(%) (R3 → R14)	
河川(BOD)	76.1 → 100
海域(COD)	81.8 → 100
湖沼(COD)	0.0 → 100





3 湖沼環境保全対策の推進

湖沼環境保全対策の推進に向けて、霞ヶ浦の水環境保全対策及び酒沼・牛久沼の水環境保全対策に関する施策を展開します。

主な施策

- 霞ヶ浦の水質保全対策
- 霞ヶ浦の地域住民等の意識の高揚と参画の促進
- 霞ヶ浦の調査・研究
- 酒沼の水環境保全対策
- 牛久沼の水環境保全対策

主な環境指標

流入汚濁負荷量(COD) (t/年) (R2 → R7)

霞ヶ浦	9,094	→	8,660
酒沼	1,723	→	1,642
牛久沼	443	→	415



霞ヶ浦水辺ふれあい事業(釣り体験・魚の観察)



霞ヶ浦の水循環



4 循環型社会づくりの推進

循環型社会づくりの推進に向けて、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進等に関する施策を展開するほか、廃棄物の適正処理の推進に関する施策を展開します。

主な施策

- 3Rの推進
- 循環型社会形成に向けた基盤づくり
- 分野別対策の推進
- 不法投棄対策
- 廃棄物等の適正処理の推進



主な環境指標

ごみの排出量(千t) (H30 → R7)

1,060 → 980

不法投棄等新規発見事案件数(件) (R3 → R7)

171 → 80以下



エコショップ制度

地球にやさしい・いいお店

当店では、環境保全のために次のことに取り組みんでいます。

ビン回収	紙パック回収	簡易包装	カン回収
買物手帳持参	商品の修理	再生紙使用	トレイ回収
エコ商品販売	エコ・リコーナー	ペットボトル回収	その他の取り組み

茨城県・各市町村



5 生物多様性の保全と持続可能な利用

生物多様性の保全と持続可能な利用に向けて、生物多様性の保全及び自然公園等の保護と利用、森林・農地の保全、河川等水辺環境の保全と活用に関する施策を展開します。

主な施策

- 野生動植物の保護・管理
- 希少な野生動植物の保護
- 外来生物対策の推進
- 生物多様性に対する県民理解の促進
- 自然公園の保護・管理と適切な利用
- 自然環境保全地域等の保全
- 温泉の保護と利用
- 森林の保全と整備
- 農地の保全
- 河川、湖沼・湿地、沿岸・海域等の保全と活用



主な環境指標

市町村における生物多様性保全活動 (R3 → R8)

37市町村 → 全市町村で実施

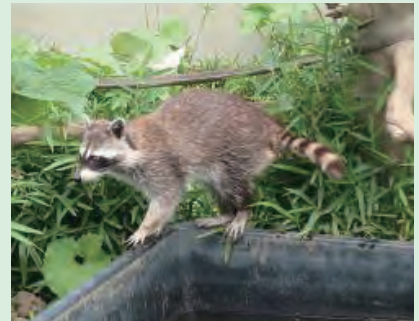
造林面積 (ha) (R3 → R9)

148 → 220

茨城県内の特定外来生物



オオキンケイギク



アライグマ



6 快適で住みよい環境の保全と創出

快適で住みよい環境の保全と創出に向けて、都市地域の緑の保全と快適な生活環境の創出及び歴史的環境・自然景観の保全と活用、自然災害への対応に関する施策を展開します。

主な施策

- 緑の空間の保全と創出
- うるおいのある快適な都市空間の創出
- 歴史的環境の保全と活用
- 自然景観の保全と活用
- 自然災害への対応

主な環境指標

河川改修率 (%) (R3 → R14)

58.2 → 59.6

土砂災害防止施設の整備率 (%) (R3 → R14)

24.7 → 25.8



県営都市公園(千波公園)



Yahoo!防災速報アプリ





7 各主体が学び協働することによる環境保全活動の推進

各主体が学び協働することによる環境保全活動の推進に向けて、環境教育・環境学習等の推進及び各主体の環境保全活動と協働取組の促進、国際的な視点での環境保全活動の促進に関する施策を展開します。

主な施策

- 学校、地域、職場等の幅広い分野における環境教育の推進
- 環境学習・自然体験の機会の場の提供
- 環境保全活動を担う人材の育成と活用
- 県民、事業者、団体の環境保全活動の促進
- 県の環境保全活動の促進
- 協働の取組の促進
- 環境保全のための国際協力の推進
- 国際協力人材の派遣等



主な環境指標

環境学習講座等参加者数(人) (R3→R5~14累計)

3,790 → 100,000

環境NPO等と県の連携・協働事業実施件数(件) (R3→R14)

17 → 30



できるエコからはじめよう

茨城県では、年間を通して環境に配慮したライフスタイルを実践する県民運動「いばらきエコスタイル」を推進しています



8 環境の保全と創造のための基本的施策の推進

環境の保全と創造のための基本的施策の推進に向けて、環境情報の収集・管理・提供及びグリーン・イノベーションの推進、総合的な環境保全対策の推進に関する施策を展開します。

主な施策

- 環境情報の収集・管理・提供
- つくば・東海地区等の科学技術集積の活用
- 競争力あるものづくり産業の育成
- 次代の担い手となる研究者・技術者の育成・確保
- 環境影響評価制度の適正な運用
- 経済的支援
- 公害苦情処理・公害紛争処理



J-PARC
ニュートリノ陽子ビーム輸送ラインの超伝導電磁石
画像提供:J-PARCセンター



つくば国際戦略総合特区
藻類バイオマスエネルギーの実用化